

参考資料

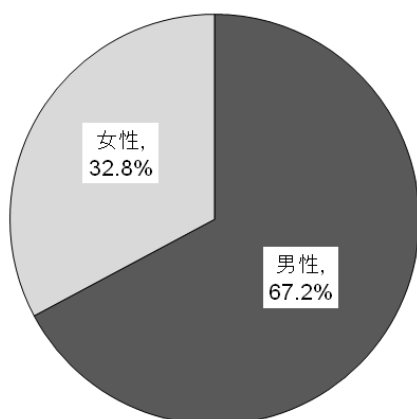
**低燃費タイヤと自動車部品に関する意識調査**

◆調査概要

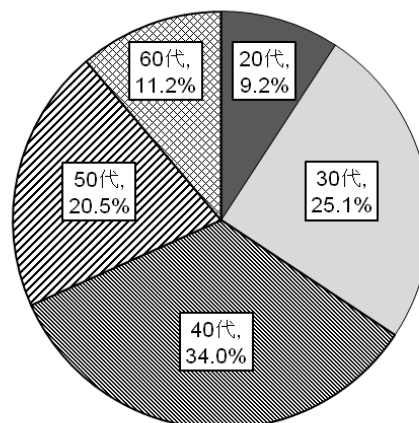
調査方法:	インターネットリサーチ
調査地域:	全国47都道府県
調査対象:	自家用車を所有し、2年以内にタイヤ交換の経験がある20歳から69歳までの男女(男性415名、女性203名)
サンプル数:	618名
調査時期:	2012年11月29日(木)～2012年11月30日(金)
調査会社:	株式会社マクロミル

◆回答者プロフィールおよび基本調査結果

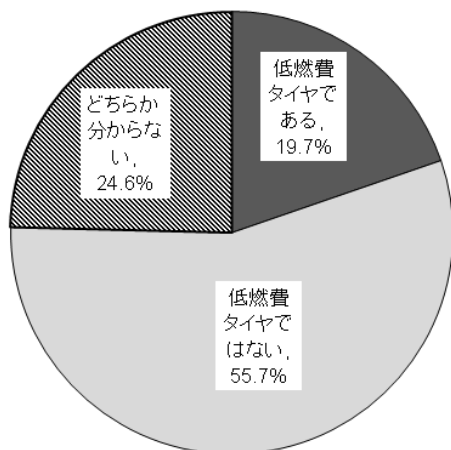
【性別】n=618



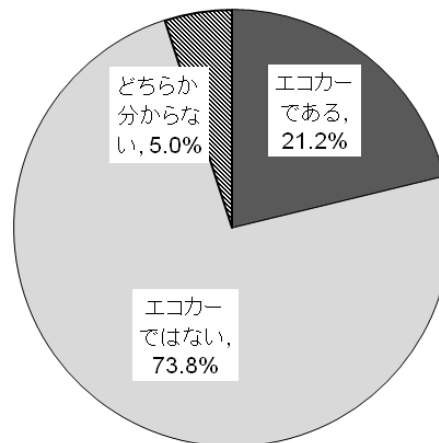
【年齢】n=618



【低燃費タイヤ使用率】n=618



【エコカー所有率】n=618

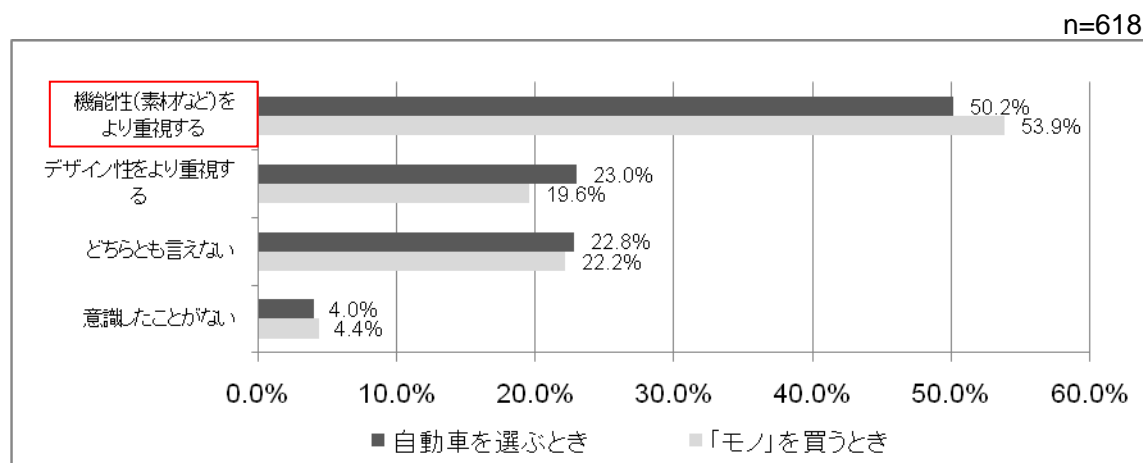


# 【1】車体や部品の素材を意識する人は4割超！素材はクルマ選びの重要な要素に

自動車を選ぶ際に「機能性(素材など)」と「デザイン性」のどちらを重視するかを尋ねたところ、「デザイン性」の23.0%に対し、50.2%の人が「機能性(素材など)」を重視すると回答しました。また、自動車を購入する際に車体や車部品の素材を気にするかを尋ねたところ、44.5%の人が「気にする」と回答し、素材がクルマ選びの重要な要素となっていることが分かりました。

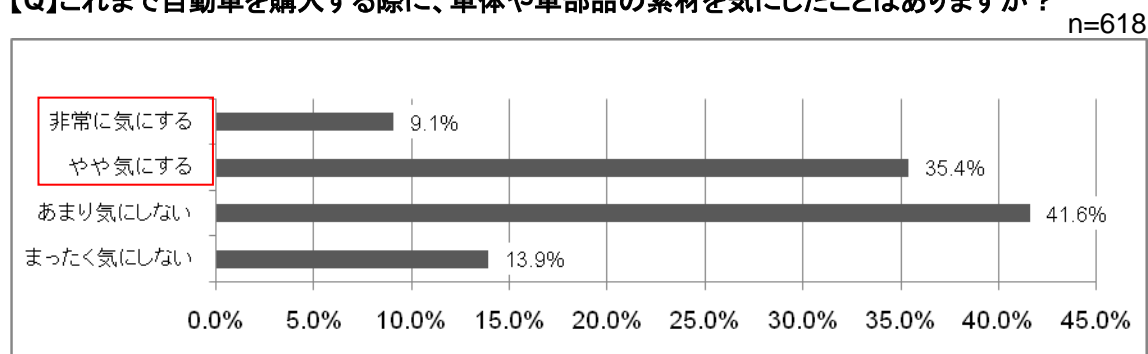
【図1】

【Q】あなたは日常的に「モノ」を買うときに、機能性(素材など)とデザイン性のどちらを重視しますか？



【図2】

【Q】これまで自動車を購入する際に、車体や車部品の素材を気にしたことはありますか？



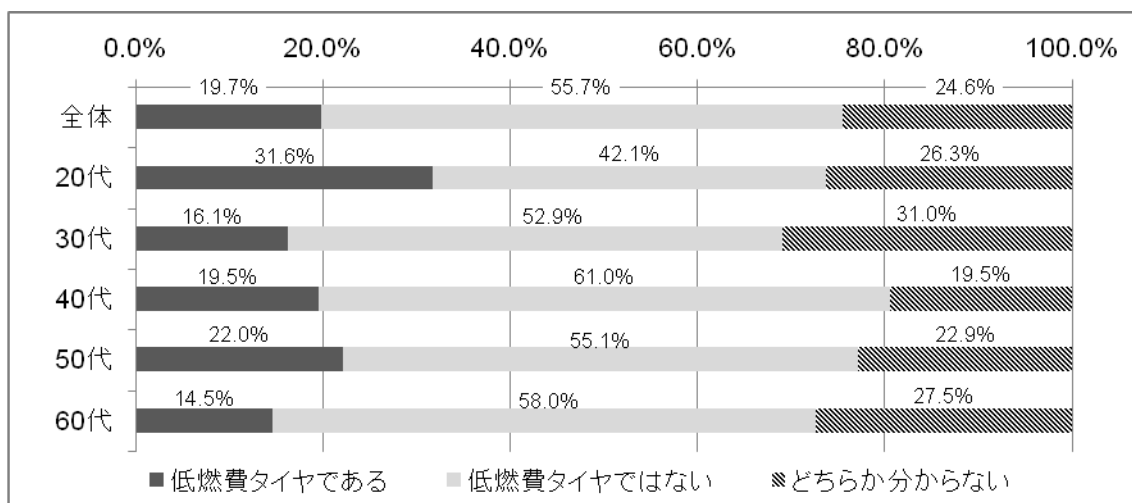
**【2】環境への関心は20代が最も高く、低燃費タイヤ使用率は30%を超え全体の約1.5倍の割合を示す**

世代別の結果では、20代の低燃費タイヤ使用率が31.6%(全体19.7%)、エコカーの所有率が28.0%(全体21.2%)とともに全世代で最も高い割合を示し、若者の環境への関心の高さが浮き彫りになりました。特に、低燃費タイヤ使用率については、20代が全体の約1.5倍、最も使用率が低かった60代(14.5%)と比べると2倍以上となり、世代間の差が顕著に現れる結果となりました。

**【図3】**

**【Q】現在自家用車でご使用のタイヤは低燃費タイヤですか？**

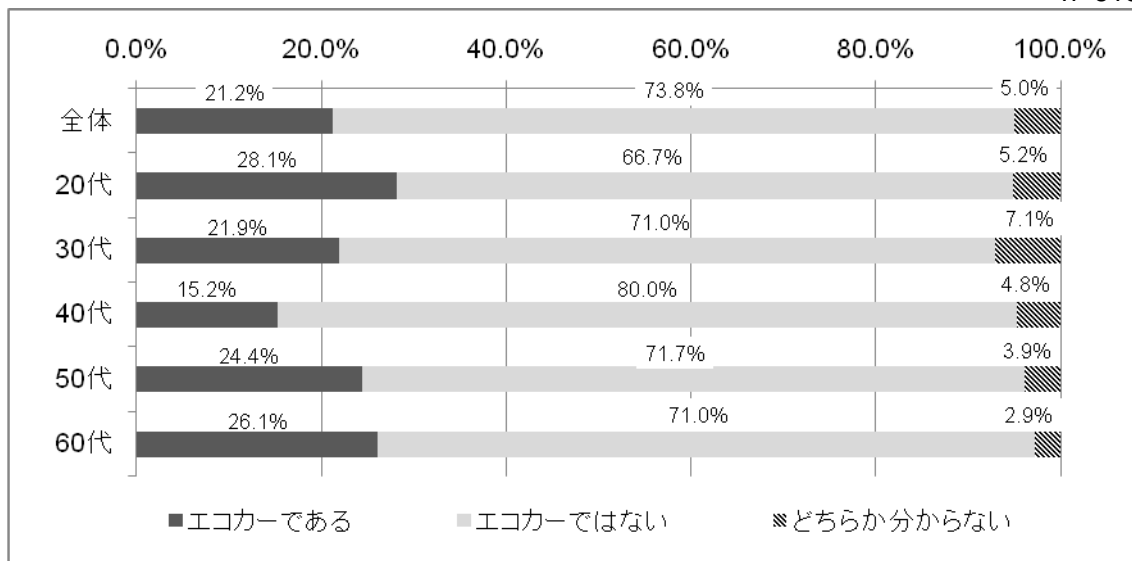
n=618



**【図4】**

**【Q】現在ご使用の自家用車はエコカーですか？**

n=618

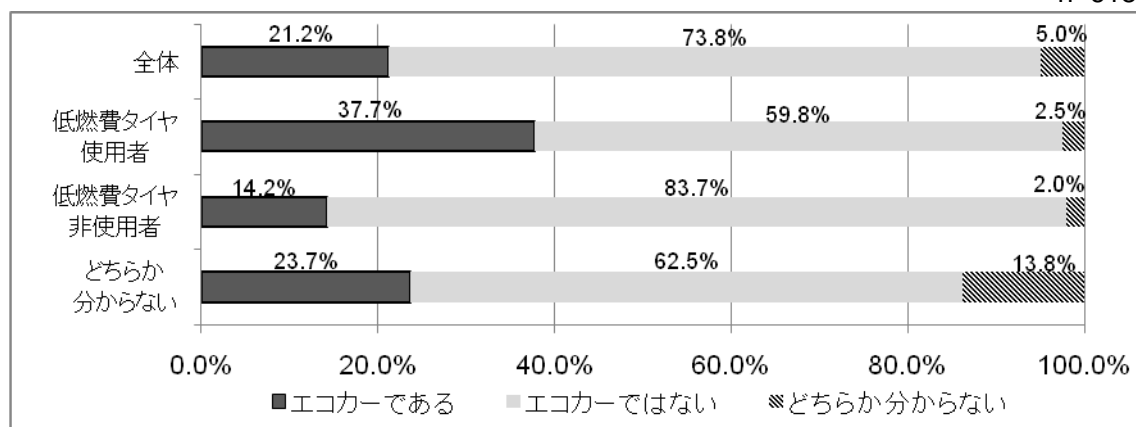


**【3】低燃費タイヤを使用するドライバーは環境意識が高く、自動車もエコカーを選ぶ傾向に**  
自家用車がエコカーかどうかを尋ねたところ、全体で21.2%の人が「エコカーを所有している」と回答しました。また、「低燃費タイヤを使用している」と回答した人に限ると、エコカーの所有率は37.7%に達し、低燃費タイヤの使用者は、他のドライバーと比べて環境への関心が高いことが明らかになりました。

**【図5】**

**【Q】現在ご使用の自家用車はエコカーですか？**

n=618



#### 【4】環境保護・燃費向上に向けた取り組みは、エコドライブや車のメンテナンスが高い割合

環境保護・燃費向上のために重視していることを尋ねたところ、「エコドライブの実施」が58.9%、「定期的な車のメンテナンス」が56.1%と高い割合を示し、「積載する荷物の軽量化」が39.0%でそれらに続く結果となりました。また、「重視していることはない」との回答は18.4%にとどまり、8割超のドライバーが何らかの取り組みを行っていることが分かりました。

一方で、「低燃費タイヤの使用」については15.9%にとどまりました。低燃費タイヤ非購入者に購入しなかった理由を尋ねたところ、約半数(48.8%)が「販売価格」を理由に挙げ、価格が低燃費タイヤの普及に最も大きな障壁となっていることが明らかになりました。

【表1】

【Q】環境保護ならびに自動車の燃費向上のために、あなたが重視して行っていることは、以下のどれですか？また、その中で最も重視して行っていることはどれですか？

n=618

	エコドライブ の実施	車の定期的な メンテナンス	積載する荷物の 軽量化	低燃費タイヤ の使用	燃費向上 器具の活用	その他	特になし
重視して行っていること (複数回答)	58.9	56.1	39.0	15.9	12.8	1.8	18.4
最も重視して行っていること (単一回答)	41.6	24.1	10.4	2.4	1.6	1.5	18.4

【表2】

【Q】低燃費タイヤを購入した理由は何ですか？／低燃費タイヤを購入しなかった理由は何ですか？

n=122

低燃費タイヤを購入した理由は何ですか？	
燃費性能	74.6%
販売価格	36.1%
安全性	35.2%
ブランド	23.0%
グリップ性能	15.6%
耐久性	17.2%
静粛性	14.8%
快適性	14.8%
新製品であること	8.2%
宣伝の印象が良かったから	33.0%
(メーカー・知人に) 勧められたから	14.8%
その他	4.9%

n=344

低燃費タイヤを購入しなかった理由は何ですか？	
燃費性能	2.0%
販売価格	48.8%
安全性	6.1%
ブランド	4.1%
グリップ性能	10.8%
耐久性	6.7%
静粛性	4.9%
快適性	3.5%
新製品であること	3.8%
その他	8.4%
低燃費タイヤの存在を知らなかったから	32.6%

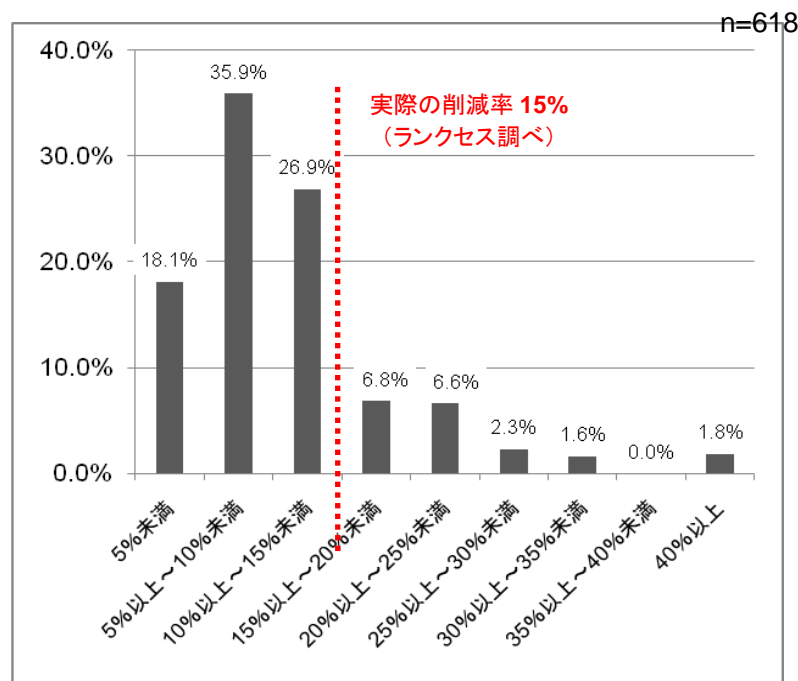
### 【5】車体軽量化によるCO2削減効果は、約8割が実際の効果よりも低いと予想

自動車の車体が100kg減った時のCO2削減率予想を尋ねたところ、全体の80.9%が15%未満と回答しました。ランクセスの試算では、実際の削減率は15%程度と見込んでおり、8割を超える人が実際の削減率よりも低い予想をしていることが明らかになりました。

一方、車体軽量化のための素材として注目されているプラスチックの認知度を尋ねたところ、36.9%の人が「良く知っている」、「まあまあ知っている」と回答したほか、環境保護・燃費向上のため重視していることでは39.0%のドライバーが「積載する荷物の軽量化」を挙げており(P.53【表1参照】)、車体軽量化への関心が決して低くないこともうかがえます。

【図6】

【Q】自動車の車体が100kg軽くなったとき、CO2の削減率は何の程度だと思いますか？



【図7】

【Q】人と環境にやさしい車社会（グリーンモビリティ）を形成していく要素として、「車体軽量化のためのプラスチック」の存在を知っていますか。

